



〈企画プログラム〉10月4日（金）

会長講演

会長講演

10月4日（金） 10:20～10:50 第4会場（1階 アポロン A）

座長：中島 耕一（東邦大学）

PL 防衛医科大学校泌尿器科学講座の歩み

浅野 友彦（防衛医科大学校病院 病院長）

特別講演

特別講演 1

10月4日（金） 11:00～12:00 第4会場（1階 アポロン A）

座長：西山 博之（筑波大学）

SL1 医師の働き方改革について

天辰 優太（厚生労働省医政局医療経営支援課）

特別講演 2

10月4日（金） 16:20～17:20 第1会場（1階 ペガサス A）

座長：大家 基嗣（慶應義塾大学）

SL2 iPS 細胞技術を用いた再生医療と創薬研究

岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室）

教育講演

教育講演 1

10月4日（金） 8:40～9:40 第2会場（1階 ペガサス B）

座長：鈴木 和浩（群馬大学）

EL1 前立腺癌の MRI 診断—ピットフォールと最近の知見

新本 弘（防衛医科大学校 放射線医学講座）

教育講演 2

10月4日 (金) 9:50～10:50 第2会場 (1階 ペガサス B)

座長：宍戸 清一郎 (東邦大学)

- EL2 腎移植の課題：免疫抑制薬 TDM・ドナー特異抗体・TMA・感染症・悪性腫瘍
佐藤 滋 (秋田大学)

教育講演 3

10月4日 (金) 15:10～16:10 第1会場 (1階 ペガサス A)

座長：釜井 隆男 (獨協医科大学)

- EL3 臓器・疾患横断的がん診療時代における泌尿器科医の役割と課題
住友 誠 (藤田医科大学、がん医療研究センター)

シンポジウム

シンポジウム 1

10月4日 (金) 8:40～10:00 第1会場 (1階 ペガサス A)

◆泌尿器外傷 後遺障害を最小限にするためのマネジメント

座長：堀口 明男 (防衛医科大学校)

- S1-1 腎外傷 後遺障害を最小限にするマネジメント
石田 勝 (済生会横浜市東部病院)
- S1-2 Precision Surgery for Ureteral and Bladder Injury
加藤 晴朗 (長野市民病院)
- S1-3 尿道外傷のマネジメント：続発する尿道狭窄を念頭に置いた初期治療選択
尾島 健一郎 (防衛医科大学校)
- S1-4 外陰部・性器外傷
八木橋 祐亮 (沖縄県立中部病院)



シンポジウム 2

10月4日 (金) 8:40~10:10 第4会場 (1階 アポロン A)

◆小児泌尿器科手術はどこに向かうのか カuttingエッジの実像と将来像

座長：宋 成浩 (獨協医科大学)

中井 秀郎 (自治医科大学栃木子ども医療センター)

S2-1 停留精巣の手術とその治療の目指すべき将来

佐藤 裕之 (都立小児総合医療センター)

S2-2 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術

羽賀 宣博 (福島県立医科大学)

S2-3 上部尿路再建

西 盛宏 (北里大学/神奈川県立こども医療センター)

S2-4 尿道下裂 (尿道再建を含む)

長谷川 雄一 (国立成育医療研究センター 臓器運動器病態外科部)

S2-5 膀胱再建

中村 繁 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター)

S2-6 小児尿路結石、碎石術の実像と将来像について

石井 啓一 (大阪市立総合医療センター)

シンポジウム 3

10月4日 (金) 13:30~15:00 第1会場 (1階 ペガサス A)

◆ハイリスク前立腺癌に対する至適治療を考える

座長：斉藤 史郎 (東京医療センター)

S3-1 ハイリスク前立腺癌の病態とストラタジーの変化

佐藤 威文 (佐藤威文前立腺クリニック)

S3-2 ハイリスク前立腺癌に対する外照射

石山 博條 (北里大学医学部放射線科学)

S3-3 LDR 小線源治療

萬 篤憲 (東京医療センター 放射線科)

S3-4 HDR 小線源療法

吉岡 靖生 (がん研究会有明病院放射線治療部)

S3-5 高リスク前立腺癌の対する粒子線治療の現状と可能性

秋元 哲夫 (国立がん研究センター東病院 放射線治療科)

S3-6 ネオアジュバント療法併用ロボット支援前立腺全摘除術

大山 力 (弘前大学)

シンポジウム 4

10月4日 (金) 13:30～15:00 第4会場 (1階 アポロン A)

◆ED 治療の最前線—WMSM2020 にむけて

座長：永尾 光一 (東邦大学)

佐々木 春明 (昭和大学藤が丘病院)

S4-1 世界基準の ED 治療を目指して

佐藤 嘉一 (三樹会病院)

S4-2 ED の診断と治療

佐々木 春明 (昭和大学藤が丘病院)

S4-3 射精障害～本邦におけるトピックスと海外との比較～

天野 俊康 (長野赤十字病院)

S4-4 性医学教育の現状と今後について

白井 雅人 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

S4-5 臨床研究促進委員会によるアンケート調査

辻村 晃 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

S4-6 当科の陰茎プロステーシス手術の現状—WMSM2020 と再承認に向けて

永尾 光一 (東邦大学)

パネル・ディスカッション

パネル・ディスカッション 1

新専門医制度対応講習単位認定プログラム

10月4日 (金) 10:10～11:40 第1会場 (1階 ペガサス A)

◆TUL、PCNL をエキスパートから学び実践する次世代 Dr が大切にすることとは？

座長：宮原 誠 (入間川病院)

PD1-1 TUL エキスパートの背中を追った中堅医師の成長記録

岡田 大吾 (亀田総合病院)

PD1-2 f-TUL 手術手技向上に対する学び方と取り組み方
～尿管嵌結石を例に取って～

佐々木 正比古 (東京警察病院)

PD1-3 PNL (TAP) について、その学び方と取り組み方

原岡 政貴 (東京腎泌尿器センター大和病院)

PD1-4 ECIRS を経験して

小高 久和 (大口東総合病院)



パネル・ディスカッション 2

10月4日 (金) 10:30~12:00 第5会場 (1階 シリウス A・B)

◆すべての原発性アルドステロン症患者 (PA) に副腎静脈サンプリングは必要か (PA 病変の可視化による診療の進歩)

座長：西本 紘嗣郎 (埼玉医科大学国際医療センター)

PD2-1 泌尿器科医も理解しておきたい最近の原発性アルドステロン症コンセンサス
大久保 和樹 (防衛医科大学校)

PD2-2 アルドステロン産生の病変観察から拓く未来の原発性アルドステロン診療
西本 紘嗣郎 (埼玉医科大学国際医療センター)

PD2-3 原発性アルドステロン症における超選択的支脈別副腎静脈採血の意義について
牧田 幸三 (練馬光が丘病院 放射線科)

PD2-4 原発性アルドステロン症患者副腎におけるステロイド産生動態イメージング
杉浦 悠毅 (慶應義塾大学 医学部 医化学教室)

ワークショップ

ワークショップ 1

指導医教育コース認定プログラム

10月4日 (金) 13:30~15:00 第2会場 (1階 ペガサス B)

◆転移性腎癌の一次治療はどうすべきか？

座長：篠原 信雄 (北海道大学)

WS1-1 転移性腎細胞癌一次治療の現状
水野 隆一 (慶應義塾大学)

WS1-2 一次療法に苦慮した肉腫様 (サルコマトイド) 腎細胞癌
山名 一寿 (新潟大学)

WS1-3 北海道大学病院における一次治療の選択
大澤 崇宏 (北海道大学)

WS1-4 当科における転移性腎細胞癌 (mRCC) の一次治療の現状と治療選択に苦慮した2症例
西本 紘嗣郎 (埼玉医科大学国際医療センター)

ディベートセッション

企画
10月4日
プログラム

ディベートセッション 1

10月4日 (金) 11:00～12:00 第3会場 (1階 ペガサスC)

◆転移性腎細胞癌症例に対する腎摘除術 Pros & Cons

座長：富田 善彦 (新潟大学)

DS1-1 Cytoreductive nephrectomy は必要である

高木 敏男 (東京女子医科大学)

DS1-2 Systemic therapy or differed nephrectomy を推奨する立場から

丸山 亮 (新潟大学)

ディベートセッション 2

10月4日 (金) 15:20～17:20 第5会場 (1階 シリウスA・B)

◆気腫性腎盂腎炎の治療

座長：高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

市原 浩司 (札幌中央病院)

DS2-1 集学的治療により救命しえた単腎患者に発症した気腫性腎盂腎炎の1例—最近5年間に経験した4症例のまとめ—

竹内 一郎 (苫小牧市立病院)

DS2-2 開腹ドレナージ術で軽快した皮下気腫を伴う気腫性腎盂腎炎の一例

志村 壮一郎 (北里大学)

DS2-3 気腫性腎盂腎炎に対する初期治療として経皮的・経尿道的ドレナージは有効である—山形県における気腫性腎盂腎炎の臨床的検討より—

小澤 迪喜 (山形大学)

DS2-4 両側腎摘出術が有効であった両側気腫性腎盂腎炎の一例

岡 大祐 (群馬大学)

DS2-5 class 3 の気腫性腎盂腎炎に対する治療法の検討

篠島 利明 (埼玉医科大学)

DS2-6 当科にて加療した気腫性腎盂腎炎の検討

黒田 健司 (防衛医科大学校)



DS2-7 気腫性腎盂腎炎の治療方針

藤田 和彦（順天堂大学）

DS2-8 気腫性腎盂腎炎と気腫性膀胱炎を併発した症例を含めた、気腫性腎盂腎炎の保存的治療経験

畠 憲一（厚木市立病院）

特別企画 錬磨シリーズ

特別企画 錬磨シリーズ 1

10月4日（金） 11:00～12:10 第2会場（1階 ベガス B）

◆泌尿器科高難度開放手術の伝承 技術をどのように次世代に伝えるか？

座長：伊藤 敬一（防衛医科大学校）

錬磨シリーズ1-1 根治性、低侵襲性を追求した拡大前立腺全摘術

川島 清隆（栃木県立がんセンター）

錬磨シリーズ1-2 開放手術手技—後腹膜リンパ節郭清術

原林 透（北海道がんセンター）

錬磨シリーズ1-3 下大静脈腫瘍塞栓症例に対する手術技術の伝承

近藤 恒徳（東京女子医科大学東医療センター）

錬磨シリーズ1-4 泌尿器科領域肉腫の外科的治療

影山 幸雄（埼玉県立がんセンター）

特別企画 錬磨シリーズ 2

10月4日（金） 8:30～10:20 第5会場（1階 シリウス A・B）

◆診断に苦慮した症例

座長：青柳 貞一郎（東京医科大学茨城医療センター）

小山 政史（埼玉医科大学国際医療センター）

錬磨シリーズ2-1 診断に苦慮した前立腺皮膚瘻

橘田 岳也（北海道大学）

錬磨シリーズ2-2 嚢胞性腎癌と術前診断した腎杯憩室内移行上皮癌の一症例

吉田 毅（福岡和白病院）

錬磨シリーズ2-3 前立腺密封小線源療法後に PSA 再発をきたした転移巣の画像的診断：骨転移のモダリティ別特徴

武田 隼人（日本医科大学）

- 録磨シリーズ24 前立腺癌に対する放射線治療後 PSA 再発なく経過中に出現した骨盤リンパ節腫大
小宮 顕 (千葉大学)
- 録磨シリーズ25 高カルシウム血症を伴った局所進行前立腺癌診断時に指摘された胸部リンパ節腫大
小宮 顕 (千葉大学)
- 録磨シリーズ26 全身拡散強調画像 (DWIBS) にて診断し得た後腹膜原発絨毛癌仙骨再発の1例
海野 陽介 (がん研有明病院)
- 録磨シリーズ27 診断に難渋した両側尿管狭窄の1例
牛田 博 (地域医療機能推進機構 滋賀病院)
- 録磨シリーズ28 画像上腎に原発巣を指摘できない転移性腎細胞癌の1例
浅野 潤 (藤沢市民病院)
- 録磨シリーズ29 直腸癌の手術 10 年後に、CT で両側腎に腫瘤をみとめた1例
新井 豊 (草津総合病院)
- 録磨シリーズ2-10 下大静脈内化膿性肉芽症の一例
橋本 翔 (日本大学)

特別企画 録磨シリーズ3

10月4日 (金) 13:30~15:10 第5会場 (1階 シリウスA・B)

◆治療に難渋した症例

座長：舩森 直哉 (札幌医科大学)
藤村 哲也 (自治医科大学)

- 録磨シリーズ3-1 急性腎盂腎炎を合併した尿管回腸導管吻合部嵌頓結石の1例
八木 宏太 (自衛隊中央病院)
- 録磨シリーズ3-2 慢性前立腺炎の難治性骨盤疼痛に対する治療戦略 神経障害性疼痛及び「うつ」からくる疼痛が関与した慢性前立腺炎
鳥居 毅 (横浜東口鳥居クリニック)
- 録磨シリーズ3-3 後腹膜鏡下ドナー腎採取術後リンパ漏に対しリンパ管造影にて治療しえた1例
木島 佑 (東京女子医科大学)
- 録磨シリーズ3-4 難治性 *Mycoplasma genitalium* 尿道炎
伊藤 晋 (あいクリニック)
- 録磨シリーズ3-5 M0 前立腺小細胞神経内分泌癌に対する治療戦略
三神 晃 (日本医科大学)



録磨シリーズ36 BCG 膀胱内注入療法後の遷延する発熱、肝機能障害に対しステロイドパルス療法が奏効した一例

佐々木 賢一 (帝京大学)

録磨シリーズ37 転移性尿路上皮癌に対してペムブロリズマブを投与し致死的急性心筋炎を生じた1例

川合 剛人 (東京大学)

録磨シリーズ38 高齢外国人に起こった TURBT 後の高熱と尿道周囲・陰囊の激的な炎症～何を考える？～

久木元 隆 (秋田大学)

録磨シリーズ39 両側水腎症を呈した増殖性膀胱炎症例の治療経験

蘇武 竜太 (水戸医療センター)

録磨シリーズ3-10 高度な尿管狭窄、水腎症、腎盂腎炎を伴った重複腎盂尿管に対して腎部分切除術に至った症例

森田 順 (昭和大学)

NCD 企画

NCD 運営委員会報告～NCD の現状と今後の展望

10月4日 (金) 15:10～16:10 第2会場 (1 階 ベガサス B)

1 泌尿器科学会における NCD 登録の現状と方向性

講師：畠山 真吾 (弘前大学)

講師：水野 隆一 (慶應義塾大学)

講師：山本 博之 (慶應義塾大学／東京大学)

講師：賀本 敏行 (宮崎大学)

2 初年度登録データからの報告

講師：水野 隆一 (慶應義塾大学)

講師：畠山 真吾 (弘前大学)

講師：山本 博之 (慶應義塾大学／東京大学)

講師：賀本 敏行 (宮崎大学)

3 NCD 利活用の今後の展望

講師：山本 博之 (慶應義塾大学／東京大学)

講師：畠山 真吾 (弘前大学)

講師：水野 隆一 (慶應義塾大学)

講師：賀本 敏行 (宮崎大学)

「日本泌尿器科学会 NCD 運営委員会」

新専門医制度説明会

新専門医制度説明会

10月4日（金） 16:20～16:50 第2会場（1階 ペガサス B）

演者：矢尾 正祐（横浜市立大学）

卒後教育プログラム

卒後教育プログラム 3（ライブ）

10月4日（金） 8:30～9:30 第3会場（1階 ペガサス C）

◆泌尿器科腫瘍

泌尿器癌骨転移に対する治療

講師：日向 信之（神戸大学）

卒後教育プログラム 4（ライブ）

10月4日（金） 9:50～10:50 第3会場（1階 ペガサス C）

◆尿路性器感染症

性感染症の診断・治療

講師：高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

卒後教育プログラム 5（ライブ）

10月4日（金） 13:30～14:30 第3会場（1階 ペガサス C）

◆小児泌尿器科

小児泌尿器科領域の腫瘍性疾患

講師：林 祐太郎（名古屋市立大学）

卒後教育プログラム 6（ライブ）

10月4日（金） 14:50～15:50 第3会場（1階 ペガサス C）

◆腎不全・腎移植

腎移植周術期管理（ドナーも含めて）

講師：内田 潤次（大阪市立大学）



卒後教育プログラム7 (ライブ)

10月4日 (金) 16:10~17:10 第3会場 (1階 ペガサスC)

◆エンドウロロジー・腹腔鏡

腹腔鏡下腎摘除術の基本手技

講師：楨山 和秀 (横浜市立大学)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1

10月4日 (金) 12:20~13:20 第1会場 (1階 ペガサスA)

◆mCRPC にさせないために、今こそ考えるべきことは

座長：伊藤 明宏 (東北大学)

LS1-1 杉元 幹史 (香川大学)

LS1-2 佐藤 威文 (佐藤威文前立腺クリニック)

共催：ヤンセンファーマ株式会社/日本新薬株式会社

ランチョンセミナー 2

10月4日 (金) 12:20~13:20 第2会場 (1階 ペガサスB)

◆前立腺癌の診断—最近の進歩—

座長：大家 基嗣 (慶應義塾大学)

LS2-1 個別リスク評価に基づくオーダーメイド PSA 検診の国際的動向

伊藤 一人 (黒沢病院)

LS2-2 MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検の現状とテーラーメイド治療への展望

小路 直 (東海大学)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 3

10月4日 (金) 12:20~13:20 第3会場 (1階 ペガサスC)

◆ここがポイント！F-LUTS ガイドライン改訂と OAB 治療の最新トレンド

座長：武田 正之 (山梨大学)

LS3 高橋 悟 (日本大学)

共催：アステラス製薬株式会社

ランチョンセミナー 4

10月4日(金) 12:20～13:20 第4会場 (1階 アポロンA)

◆Male LUTS 薬物治療に明日はあるのか？これからのトピックを考えてみる

座長：柿崎 秀宏（旭川医科大学）

LS4 松川 宜久（名古屋大学）

共催：日本新薬株式会社

ランチョンセミナー 5

10月4日(金) 12:20～13:20 第5会場 (1階 シリウスA・B)

◆過活動膀胱の概念の変遷と治療選択

座長：小島 祥敬（福島県立医科大学）

LS5 朝倉 博孝（埼玉医科大学）

共催：久光製薬株式会社

ランチョンセミナー 6

10月4日(金) 12:20～13:20 第6会場 (1階 オリオンB)

◆前立腺癌に対する化学療法の現状と展望

座長：羽瀧 友則（秋田大学）

LS6 西村 和郎（大阪国際がんセンター）

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー 7

10月4日(金) 12:20～13:20 第7会場 (1階 オリオンA)

◆尿路上皮がん 免疫治療のバイオマーカー～precision medicineの時代に向けて～

座長：藤井 靖久（東京医科歯科大学）

LS7-1 がんゲノム診断や免疫染色によるコンパニオン診断の課題と展望

畑中 佳奈子（北海道大学）

LS7-2 尿路上皮癌における薬物療法の現状と展望

江藤 正俊（九州大学）

共催：アストラゼネカ株式会社



イブニングセミナー

イブニングセミナー 1

10月4日 (金) 17:30~18:30 第1会場 (1階 ペガサス A)

◆複合免疫療法がもたらした転移性腎細胞がん薬物治療のパラダイムシフト~臨床経験を踏まえて~

座長：大山 力 (弘前大学)

ES1-1 超・臨床医目線 腫瘍免疫から考える転移性腎細胞癌の治療戦略

城武 卓 (埼玉医科大学国際医療センター)

ES1-2 転移性腎細胞癌に対する初回全身治療のアップデート

深沢 賢 (千葉県がんセンター)

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

イブニングセミナー 2

10月4日 (金) 17:30~18:30 第4会場 (1階 アポロン A)

◆過活動膀胱治療への新たな一歩

座長：高橋 悟 (日本大学)

ES2 三井 貴彦 (山梨大学)

共催：杏林製薬株式会社/キッセイ薬品工業株式会社

イブニングセミナー 3

10月4日 (金) 17:30~18:30 第5会場 (1階 シリウス A・B)

◆変わりゆく腎がん薬物治療

座長：近藤 恒徳 (東京女子医科大学東医療センター)

ES3-1 転移性腎細胞がんにおける 1st line 治療薬の使い分け

高木 敏男 (東京女子医科大学)

ES3-2 sequence で考える TKI 単剤の意義~パゾパニブの使用経験から~

原田 健一 (神戸大学)

共催：ノバルティスファーマ株式会社